

大通りから一本入った住宅街。寒緋桜が立ち並ぶ通り沿い、緑に囲まれたT邸は実に特徴的だ。道路と敷地に対して斜めに建てられているからのだが、それはこの家がOMソーラーシステムを組み込み、太陽熱を効果的に取り入れるため。

斜めに配置したことによって敷地の四隅に出来た三角形のスペースはどれも明るく、通りに面した2つを植栽豊かな駐車場に、残りの2つは趣の異なる庭としている。隣接する家と、窓と窓が近距離で向かい合うこともなく、それぞれが表情豊かな景色を見せる。桜が満開ともなれば、西側のバルコニーは花見の特等席だ。

南欧風の白い家が理想だったという奥様の恵子さんは、自宅でフラワーアレンジメント教室を主宰して

いる。玄関ドアを開けると広がる明るく開放的なアトリエ。新鮮な花々を扱うため、床には自分で探したお気に入りのテラコッタが敷かれ、温もりのある木のテーブルで靴を脱がずにレッスンが出来る。壁はご主人こだわりの土壁だ。

「主人がどうしても土壁にしたいというので1階は妥協しましたが、2階は白壁です。悉く趣味が違うから、鈴木工務店さんはさぞかし大変だったはず。」

京都出身のご主人はあくまで和風にごこだわった。「昔の日本家屋のように、部屋を独立させない家が理想でした。最先端の技術よりローテクのカラクリというか、先人の知恵みたいなものが好きなんですよ。木を使った家、自然の力をいかしたOMソーラーにも興味がありました。『チルチンびと』創刊号で茅葺屋根の家で暮らす鈴木工務店社長のことを知り、趣味嗜好が合いそうだなと思ったんです。」

太陽の熱を取り込み床下へと循環させるOMソーラーのお陰で、寒い冬でも家の中はどこにいても暖かく、空気が新鮮だ。夏の間はその熱でお湯を作り、夜になれば涼しくなった外気を室内に取り込み循環させる。間仕切りのないオープ

「こだわり」と「ひかり」がたわむれる  
パッシブソーラーの家

住まいづくりに真剣に向き合えば向き合うほど、譲れないこだわりや相異なる要望が生まれるもの。そんな想いを共存させ、形にしたアトリエ兼住宅の家づくりレポートです。



1. “抜け感”のある広々としたリビングダイニング。上には抜群の収納力とご主人の仕事スペースを兼ねたロフトがある 2. 玄関と教室、2つの役割を持つ開放的な空間。ストリップ階段が窓の景色も遮らない 3. ロフトから見下ろしたリビング。杉板の勾配天井で、家の中を木の香りが包み込む 4. 奥さま手作りの教室看板が出迎えてくれるエントランス 5. 敷地に斜めに建てられているT邸では、深い庇が季節に合わせて日射をコントロールしてくれる 6. 桜の木に手の届きそうな西側のバルコニー



株式会社 鈴木工務店  
195-0053 東京都町田市能ヶ谷3-6-22  
tel 042-735-5771 fax 042-735-3323  
www.suzuki-koumuten.co.jp

んな家を可能にしているのは、暖房と換気を自然の力で行うこのシステムのおかげなのだ。  
「空気が全然違うと思いますよ。勿論、真夏はエアコンを点けますけど、普通に我慢できるくらいのこと、ちょっと涼しい感じが逆にいいですね。冬の底冷えは全くありません。夏は日陰を作り、冬は光が入りこむ深い庇も気に入っています。その他にもあちこちに遊び心いっぱいのおもしろい仕掛けがあるんです。妻と僕との真逆のリクエストがうまくこと昇華されたかな。」  
時を経ていつそう色艶美しい木の香りとおいしい空気に包まれた家には、譲れない自分のこだわりがたくさん詰まっている。